

国際宇宙ステーション(ISS)のペイロード 安全審査権限のNASAからの委譲について

平成22年10月27日(A改訂)

平成22年10月20日

宇宙航空研究開発機構(JAXA)

有人システム安全ミッション保証室

小沢正幸

(改訂内容) 第37回宇宙開発委員会(平成22年10月20日)でのご指摘を受け、安全審査の流れを示した図に宇宙開発委員会安全部会を追加し、見直しを行った。

(改訂箇所) 2ページ

ISSペイロード安全審査権限委譲

日本で開発するISSペイロード(実験装置及び実験試料)に関わる安全審査は、これまでJAXA有人安全審査パネル(JAXA SRP)*¹及びNASAペイロード安全審査パネル(PSRP: Payload Safety Review Panel)による2段階で実施してきた*²。今回、NASAからJAXAの有人安全審査能力がNASA審査レベルと同等と認められ、平成22年9月24日に、日本で開発する実験装置のすべての審査権限についてNASA ISSプログラムからJAXAに権限委譲(フランチャイズ化)がなされた。

*1:議長: 有人システム安全ミッション保証室長, 構成員: 有人本部各部長、安全信頼性推進部長及び外部有識者

*2: 1997年以降、約200件のペイロード安全審査を実施

1. 審査権限委譲の意義

- (1) ISS計画参画以来JAXAが取得した有人安全評価技術の成果が具現化された。
- (2) 安全審査を受審する国内研究者等のコスト削減、時間短縮等が図られる。

2. 権限委譲のためこれまで実施した主な活動

- (1) NASA PSRPからの審査権限委譲に関わるNASAとの覚書の締結
- (2) JAXA SRPの審査体制の整備
 - ・ 材料評価ボード、構造・フラクチャボード、電力・熱設計ワーキンググループの設置
- (3) NASA によるJAXA SRPの能力評価
 - ・ JAXA SRPの体制・審査能力の評価のため、平成21、22年にNASA/JAXA共同安全審査を実施し、JAXA SRP審査能力がNASA PSRPと同等であることが認められた。



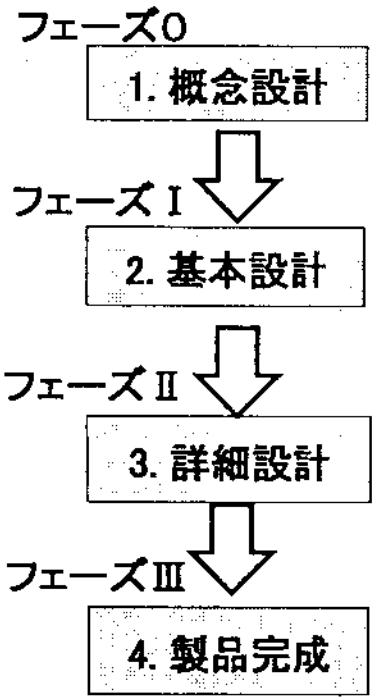
NASA/JAXA共同安全審査(H22.9月)

今後の安全審査の流れ

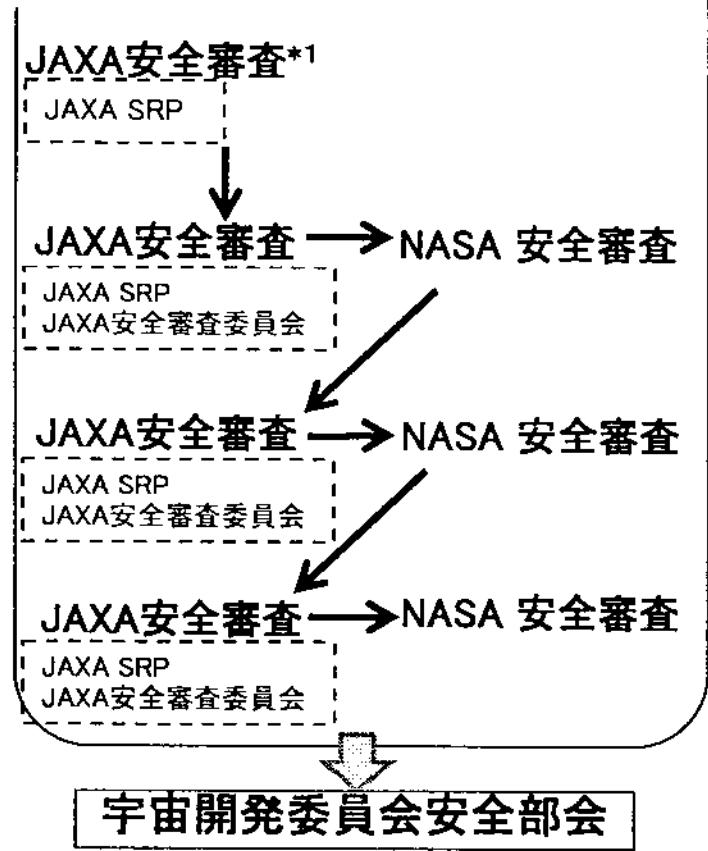
今後はJAXA SRPが審査主体となり、NASA PSRPに対してはJAXA審査開催時に審査文書を送付し指摘を受ける。ただし、船外活動(EVA)、毒性評価等、NASAが専門的な知識を有する分野については、NASA PSRPの協力を適宜得ることとしている。

A

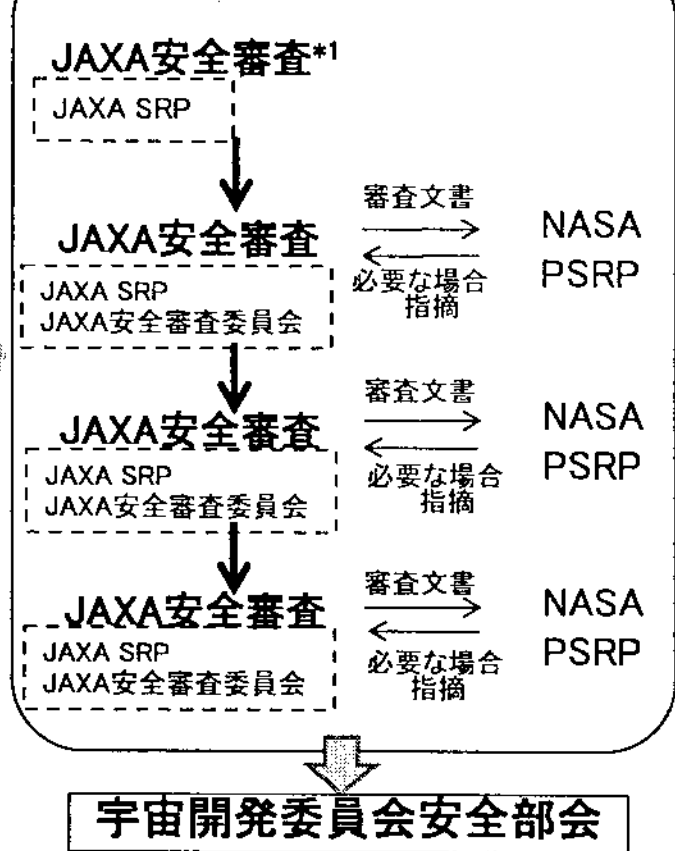
【設計審査の流れ】



【これまでの安全審査の流れ】



【今後の安全審査の流れ】



*1 JAXAでは各フェーズ毎に有人安全審査パネルによる審査後、副理事長を議長とするJAXA全体の安全審査委員会が審議している。